

VI 広島市観光施策の概要

ビジターズ・インダストリー戦略（アクションプログラム）の推進

広島市が魅力あふれる都市として、さらに発展していくためには、交流人口を増やし、都市の活性化を図ることが重要である。本市では、平成16年（2004年）に、広島を訪れる様々な来訪者（ビジターズ）を増やすことを目的とした行動計画である「ビジターズ倍増に向けて一千客万来の広島の実現」を定め、具体的なアクションプログラムをまとめた。

このアクションプログラムに基づき集客力のあるイベントの開催や本市の歴史、文化、産業などを生かした観光資源の整備などの様々な取組を進める。

都市のにぎわいづくりの推進

1 フラワーフェスティバル開催

花の総合パレード(5月3日)、きんさいYOSAKOI(5月5日)をはじめ、「花のじゅうたん」や「大作席書」などに加え、夜の催しとして「夜神楽」や「折りづるフロート」を実施するなど、都市の魅力とにぎわいづくりを創出し、来訪者にとって楽しく魅力的なフラワーフェスティバルとなることを目指す。

- 会 期 平成22年5月3日（月・祝）～5月5日（水・祝）（3日間）
- 会 場 平和記念公園、平和大通りの主会場など
- テーマ 「きっと咲く！ つないだ手と手に 平和の花が」
- 主 催 ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会（広島祭委員会の内部組織）

2 ゆかたできん祭（さい）開催

ゆかたを着た来訪者の増加を促進し、夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」をより魅力ある祭りにするため、メイン会場となる中央通りを初日と中日の2日間歩行者天国として開放するとともに、「ゆかたで踊りんさい」などのイベントを充実し、ゆかたを着用した来訪者の増加を目指す。

- 時 期 平成22年6月4日（金）～6日（日）
- 場 所 中央通り、袋町公園、東新天地公共広場、クレドふれあい広場など市内中心部一帯

3 広島みなと 夢 花火大会開催

市民公募し、自分たちの誕生日、結婚、還暦などを記念するメモリアル花火を打ち上げるとともに、同大会の花火の写真を公募するフォトコンテストを実施するなど、広島を代表するイベントとして誘客を促進する。

- 時 期 平成22年7月24日（土）
- 場 所 広島港一帯

4 ひろしまライトアップ事業

広島冬の風物詩であるライトアップを、平和大通りを中心に中心部商店街や商業施設などの市内中心部一帯で展開することにより、市民や観光客が広島の夜の街を散策して楽しめる魅力ある観光スポットを創出する。

- 時期 平成22年11月11日(木)～平成23年1月3日(月)
- 場所 平和大通りや中心部商店街をはじめ市内中心部一帯

「水の都ひろしま」づくりの推進

1 水辺のコンサートの実施（社会実験の実施）

水辺のコンサートを、NPO法人、学校、企業等の参加・協力を得て、春期・秋期の土曜日又は日曜日に、年間18日程度開催する。

- 事業主体 水の都ひろしま推進協議会
- 実施時期 春期：平成22年4月～6月、秋期：平成22年9月～11月
- 実施場所 原爆ドーム対岸親水テラス

2 水辺のオープンカフェの実施（社会実験の実施）

国の河川利用の特例措置を活用した民間事業者による京橋川オープンカフェ及び元安川オープンカフェを継続して実施する。

- 実施主体 水の都ひろしま推進協議会
- 実施場所 京橋川右岸河岸緑地、元安橋東詰河岸緑地

3 水辺のレストランの設置等の検討

「水の都ひろしま」の新しいシンボルとなるような水辺のレストランについて、河川管理者等と協議しながら設置に向けた検討を行う。

4 河川整備事業の推進

「水の都ひろしま」にふさわしい水辺を生かしたうるおいとにぎわいのある都市空間を創出するため、まちづくりと一体となった水辺の整備について、引き続き国、県と連携して取り組む。

広島情報の発信

1 ひろしま観光情報の発信

広島への関心を高め、観光客をさらに呼び込むため、メディアの活用や市民パブリシストによるPR活動の推進、メールマガジン「ひろしまファンクラブ」の配信など広島の観光情報を発信する。

2 修学旅行誘致の推進

広島への修学旅行生を増やすため、全国の学校等への個別誘致活動や市長、副市長の県外出張の機会を利用したトップセールスの展開、県外からの教育関係者を招へいして平和学習の進め方等の研修を実施するほか、平和関連の学習メニューや島しょ部・山間部での体験学習メニューを充実する。また、修学旅行に関する様々な情報をホームページ「ひろしま修学旅行ガイド」で紹介するなど、誘致・PR活動の強化を図る。

○事業概要

- ・全国の学校、教育委員会及び旅行会社に対する誘致・宣伝活動
年間20回実施予定（学校等775箇所、旅行会社等75箇所 計850箇所）
- ・教育関係者招へい事業の実施
平成22年7月27日～平成22年7月30日（3泊4日）
- ・産業・体験マップ 改訂 5,000部作成

3 インバウンド事業の推進

韓国、台湾、中国、米国を対象としたインバウンド商品化事業や訪日教育旅行事業を推進した誘客促進事業を展開します。

4 観光クルーズ客船の誘致

国内外からのビジターズの増加を図るため、クルーズ客船寄港時の歓迎イベントや受け入れ態勢の充実に取り組むとともに、船会社やその代理店などを訪問し、クルーズ客船の誘致に努める。

ビジターズの受入環境づくり

1 「ひろしま通」認定試験の実施

広島の魅力ある歴史・文化・自然等に精通したひろしまファンの増大を図るとともに、市民や観光事業者等の観光ホスピタリティを高めることを目的として、「ひろしま通（つう）」認定試験を実施する。

また、認定者を対象に広島に関する知識をさらに深めてもらうため、講演会や交流会等のフォローアップ事業を実施する。

- 試験実施日 平成22年12月5日（日）
- 場 所 県立広島大学広島キャンパス
- 実施主体 商工会議所、市、広島観光コンベンションビューローで構成する実行委員会

2 民間VI活動推進事業

入込観光客数の増加や観光振興などに貢献している民間企業・団体の活動を認定、表彰、PRすることで、既存の活動を活性化するとともに、民間企業・団体が新たな集客交流事業に参加するよう動機付けを行う。

観光プログラムの開発と充実

1 広島・宮島・岩国地域観光圏事業

2泊3日以上滞る型観光を促進するため、周辺市町及び観光関係団体と協議会を設置し、地域内での滞在時間を延ばすための旅行商品や夜型観光資源の開発等に取り組む。

○実施主体 広島・宮島・岩国地域観光圏推進協議会

○事業内容

・滞在型旅行商品化事業

観光圏内での2泊3日の滞在が可能となる魅力ある旅行商品の開発を行う。

・観光メニュー充実

夜をそぞろ歩き出来るまちとなることを目指し、原爆ドーム・厳島神社・錦帯橋の同時期連携ライトアップや伝統芸能神楽の実施等、夜の魅力開発に取り組む。

また、食、自然、歴史、文化、産業等地域の多様な資源を活かした魅力ある旅行商品の開発に取り組む。

・魅力ある圏内交通手段の検討

地域内の周遊や利便性の向上に向け、瀬戸内海を中心とした観光ルートの開発・整備に取り組む。

・観光案内、観光発信機能の充実

観光客が地域の観光情報を手軽に手に入れる環境づくりを図るため、観光案内所間の連携の強化及び情報の共有化を図るなど、観光客の利便性の向上に取り組む。

2 湯来地区交流・体験型観光事業の推進

交流体験等の新たな観光ニーズに対応できる受入態勢の整備と旅行商品の開発に取り組むとともに、地域住民がまちの再生に継続的に参画し、地域の力で活力や魅力を向上させる仕組みづくりを行う。